

2022年9月5日

各位



ベトナム国ビントゥアン省における16MW小水力発電プロジェクトについて

株式会社兼松 KGGK (以下、「KGGK」) は、ベトナムの Song Luy Joint Stock Company (以下、「Song Luy」) と共に、ベトナムのビントゥアン省で水力発電事業 (以下、「本プロジェクト」) を実施いたします。

本プロジェクトは、環境省が実施している二国間クレジット制度 (JCM: Joint Crediting Mechanism) 資金支援事業のうち設備補助事業※(以下、「JCM 設備補助事業」) に採択され、ベトナムにおける水力発電事業での JCM 設備補助事業として、初の採択案件となりました。

本プロジェクトでは、8 MW の縦軸フランシス水車を 2 基導入し、16MW での小水力発電事業となり、2023 年 7 月より VIETNAM ELECTRICITY SOUTHERN POWER CORPORATION (ベトナム南部電力公社、以下、「EVNSPC」) へ電力の供給を行います。

EVNSPC への電力供給量は年間約 51GWh を見込んでおり、ベトナム国の電源構成の多様化、及び本プロジェクト実施省内における電力供給不足の改善、そして地域経済の活性化に貢献します。

また、エネルギー源の脱炭素化による温室効果ガス排出削減量は年間約 16,910 トンとなり、JCM の枠組みを通じた事業の実施により、日本の温室効果ガスの排出削減目標の達成にも寄与します。

KGGK は 2018 年より JCM 設備補助事業に参画しており、本プロジェクトは、タイ/食品工場への 0.8MW 太陽光発電及び高効率冷凍機の導入 (2018 年度)、ベトナム/アンザン省における 49MW 太陽光発電プロジェクト (2019 年度)、ベトナム/アンザン省における 57MW 太陽光発電プロジェクト (2020 年度)、タイ/スパンブリ県における 35MW 太陽光発電・蓄電池導入プロジェクト (2021 年度) に続く 5 件目の採択となり、5 件の温室効果ガス排出削減量の総合計は年間約 84,000 トンとなります。東南アジア地域では今後も再生可能エネルギーによる発電システムや、エネルギー貯蔵システムの更なる導入が計画されています。KGGK は今後も同地域および世界各国において、気候変動対策や持続可能な社会の実現に貢献する事業に取り組んでまいります。

※二国間クレジット制度 (JCM: Joint Crediting Mechanism) 資金支援事業のうち設備補助事業
優れた脱炭素技術等を活用し、途上国等における温室効果ガス排出量を削減する事業を実施し、測定・報告・検証 (MRV) を行う事業。途上国等における温室効果ガスの削減とともに、JCM を通じて我が国及びパートナー国の温室効果ガスの排出削減目標の達成に資することを目的とする。優れた脱炭素技術等に対する初期投資費用の 2 分の 1 を上限として補助を行う。なお、本プロジェクトはベトナム政府と日本政府の協力の下で実施されている。

【完工イメージ図】



以上

<本件に関するお問い合わせ>
株式会社兼松 KGK GX 推進部
Email: energy032@kgk-j.co.jp